



Mac OS X

## 説 明 書

ver 2.5

" List 4 + ver2 " は、演劇、イベント等で放送する  
音楽／効果音などの音源をキーボードキー又はマウスクリックの簡単な操作により、複数同時に再生でき

**サンプリング レート** 44.1KHz～96 KHz

**bit数** 8bit／16bit／24bit

**ファイルタイプ** aiff／wav／sd2

のサウンドファイルを **最大10ch Output** を使用し再生する事ができるソフトウェアです。

※ パソコンに接続された外部／内部インターフェイスの性能／能力に依存します。

## 目次

03	.....	ご使用になられる前にお読みください
04	.....	<b><u>1 インストール ～ ソフトウェア起動まで</u></b>
	.....	1-1 インストール
	.....	1-2 Authorize ( オーサライズ )
05	.....	<b><u>2 各部位の名称と説明</u></b>
	.....	2-1 各画面
06	.....	2-2 【 List A・B・C・D 】
07	.....	2-3 【 List E 】
08	.....	2-4 【 Audio Setup/Oscillator/Matrix 】 【 保存／呼び出し 】
09	.....	<b><u>3 セットアップ、マトリックス部位名称と説明</u></b>
	.....	3-1 Audio Setup ( オーディオ セットアップ )
10	.....	3-2 Audio Setup ( オーディオ セットアップ ) の設定
11	.....	3-3 Oscillator ( オシレーター )
12	.....	3-4 Matrix ( マトリックス )
13	.....	<b><u>4 ソフトウェアの操作／編集操作</u></b>
	.....	4-1 サウンドファイルを追加する 【 List A・B・C・D・E 】
	.....	4-2 サウンドファイルをコピー (複製) する 【 List A・B・C・D 】
	.....	4-3 サウンドファイルの順序を入れ替える 【 List A・B・C・D 内 】
	.....	// 【 List A・B・C・D 間 】
	.....	// 【 List E 】
14	.....	4-4 サウンドファイルを削除する 【 List A・B・C・D・E 】
	.....	4-5 再生モード切替方法 【 List A・B・C・D 】
	.....	// 【 List E 】
15	.....	4-6 サウンドファイル进行操作する 【 List A・B・C・D 】
16	.....	// 【 List E 】
	.....	4-7 サウンドファイルの音量を調整する 【 List A・B・C・D・E 】
17	.....	<b><u>5 List ファイルの保存／呼び出し操作 ( SAVE / SAVE AS / LOAD )</u></b>
	.....	5-1 SAVE AS ( 新規保存 ) / ( 別名で保存 )
	.....	5-2 SAVE ( 上書き保存 )
18	.....	5-3 LOAD ( Open )

## ご使用になられる前にお読みください

弊社製品ソフトウェア List4+v2 並びに List4+v2 説明書の著作権は、  
日本音効機器産業有限会社が有します。無断転写、複製、転載を禁じます。

### ソフトウェア ライセンス契約

- ▼購入していただいたソフトウェアライセンス契約は、お客様と日本音効機器産業有限会社間の弊社製品ソフトウェア List4+v2 並びに List4+v2 説明書の使用に関する契約書です。
- ▼弊社製品ソフトウェア List4+v2 を使用される前に必ず List4+v2 説明書をお読みください。
- ▼弊社製品ソフトウェア List4+v2 を使用された場合には、お客様がこの List4+v2 説明書をお読みになった上でライセンス契約、使用権許諾 および 免責事項等のすべての条項を理解され、同意されたものと見なします。

### 使用権許諾

- ▼ソフトウェア ライセンス契約に基づき、
  - 1、 **1回のユーザー登録につき1台のコンピューターで使用すること。**  
( お客様個別のユーザー名、当社より指定したパスワード / シリアルナンバーを1つの登録として。 )
  - 2、 別のコンピュータに弊社アプリケーションソフトウェアを インストールし直す場合、元のコンピュータにインストールされた同弊社アプリケーションソフトウェアを消去する必要があります。
  - 3、 インストールした弊社アプリケーションソフトウェアが、何らかの原因で使用できなくなった場合、バックアップコピーをインストールして使用すること。
- ▼お客様は、弊社アプリケーションソフトウェアプログラム、並びに説明書、またはそれらの複製物を頒布することはできません。  
また、弊社アプリケーションソフトウェアプログラムを無断複製、貸与、改変、リース、賃貸、配布することはできません。  
さらに、ネットワーク上での使用、タイムシェアリングによる使用、複数のCPU、コンピュータ、複数ユーザーで使用することはできません。

### ソフトウェア説明書について

- ▼List4+v2 説明書の記載内容は、文章／映像／写真／音楽 等すべての著作権は当社もしくは当社に利用確認を認めた権利者に帰属します。  
法律範囲内で、ダウンロード／プリントアウトし利用することおよび、日本音効機器産業有限会社に許可された場合を除き、当社に許可なく無断で 配信／送信／掲示／削除／変更／翻案／その他 等を含む他の利用は固くお断りいたします。
- ▼List4+v2 説明書の記載内容は、予告無く変更される事がございますが、変更に対し一切の責任を持ちません。

### 免責事項

- ▼弊社ソフトウェア List4+v2 の内容についての誤り、情報および動作の正確性、完全性を保証しているものではありません。  
利用したことにより、もしくは何らかの要因、原因により利用することができなかったことによって生じる、ソフトウェア上／ハードウェア上のトラブルや、その他の障害／損害については、当社は何ら責任を負うものではありません。
- ▼弊社ソフトウェア List4+v2 説明書の記載内容は、予告無く変更される事がございますが、変更に対し一切の責任を持ちません。
- ▼弊社ソフトウェア List4+v2 説明書の記載内容についての誤り、情報および動作の正確性、完全性を保証しているものではありません。  
利用したことにより、もしくは何らかの要因、原因により利用することができなかったことによって生じる、いかなる障害／損害については、当社は何ら責任を負うものではありません。

### 限定的保証期間

- ▼日本音効機器産業有限会社は通常使用状態において、弊社製品ソフトウェア List4+v2 保証期間は、**ユーザー登録後30日間**とします。  
保証期間内に弊社製品ソフトウェア List4+v2 に不具合が生じた場合には、当社にご連絡の上、再ダウンロードし再インストールしてください。  
再インストールされた場合の保証期間は、ユーザー登録された保証期間の残存期間とします。
- ▼弊社アプリケーションソフトウェアはダウンロード／ユーザー登録などを、お客様自己責任においてweb上で行う為、ユーザー登録の 破棄／放棄等においての、ユーザー登録料金は返還致しかねます。
- ▼日本音効機器産業有限会社およびライセンス契約は、弊社アプリケーションソフトウェアプログラムおよび説明書に関し、いかなる場合も一切の保証を致しません。
- ▼弊社アプリケーションソフトウェアの内容についての誤り、情報および動作の正確性、完全性を保証しているものではありません。  
利用したことにより、もしくは何らかの要因、原因により利用することができなかったことによって生じる、ソフトウェア上／ハードウェア上のトラブルや、その他の障害／損害については、当社は何ら責任を負うものではありません。

## 1 インストール ～ ソフトウェア起動まで

### 1-1 インストール

当社ホームページ(URL <http://onkoukiki.studio-web.net/>)より **List4+ v2** ファイルをダウンロードし、ファイルをインストールするコンピュータの**アプリケーションフォルダ**にドラッグ&ドロップしてください。

注\* 本製品 List4+v2を使用される前に必ず、List4+v2説明書をお読みください。  
本製品 List4+v2を使用された場合には、お客様がこの製品 List4+v2説明書をお読みになった上で  
ライセンス契約、使用権許諾 および 免責事項等のすべての条項を理解され、同意されたものと見なします。

### 1-2 Authorize (オーサライズ)

▼ アプリケーションフォルダ内のソフトウェア " **List4+ v2** " をクリックしソフトウェア起動させると画面上にウインドウが現れます。

当社ホームページのライセンス取得申し込み時に、お客様に記入していただいたお名前 **①User Name**と、

当社メールにてお知らせしてある **②Serial No** と **③Authorize Code** を入力し

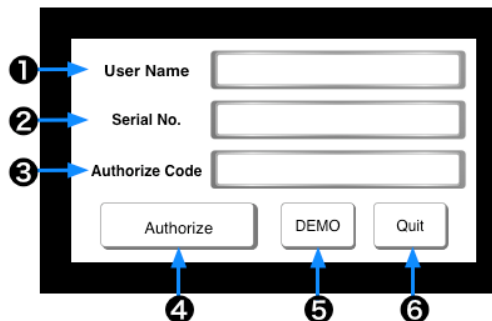
ウインドウ内 **④Authorize キー**をクリックしていただくと、ソフトウェアが起動します。

起動後、一旦ソフトウェアを **終了( ⌘+Q )** させてください。Authorize 作業が完了いたします。

▼ DEMO モードで起動する場合は、**⑤DEMO キー**をクリックします。

注\* DEMO モードで使用されますと、信号音が断続的に発信され続けます。  
正規にソフトウェアを使用される場合は、当社ホームページよりライセンス取得をお済ませの上 Authorize 作業を行ってください。

▼ ソフトウェアを起動せずに終了する場合は **⑥Quit キー**をクリックします。

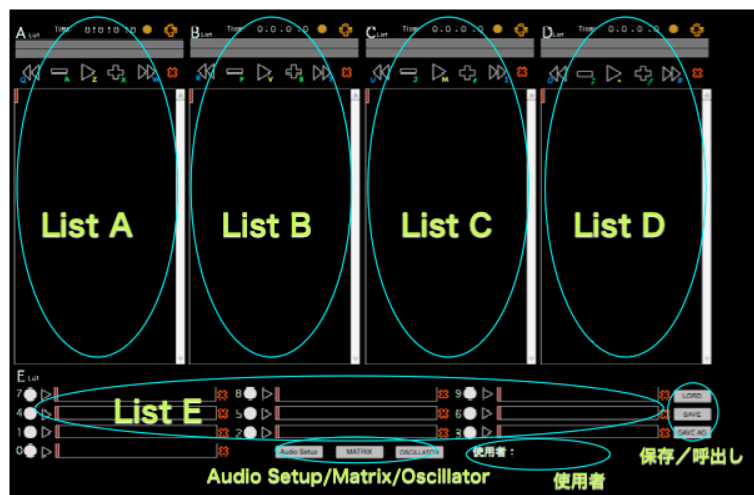


注\* パソコンに接続されたインターフェイスの能力に依存します。

**①User Name**、**②Serial No**、**③Authorize Code**は、アルファベットの太文字/小文字、ひらがな/カタカナ/漢字、など正確に記入してください。

## 2 各部位の名称と説明

### 2-1 各画面



- 【 List A 】 , 【 List B 】 , 【 List C 】 , 【 List D 】

各Listごとにサウンドファイルを再生順に並べられ、再生操作も個別に行えます。

- 【 List E 】 List A . B . C . D の操作とは個別に再生操作を行えます。

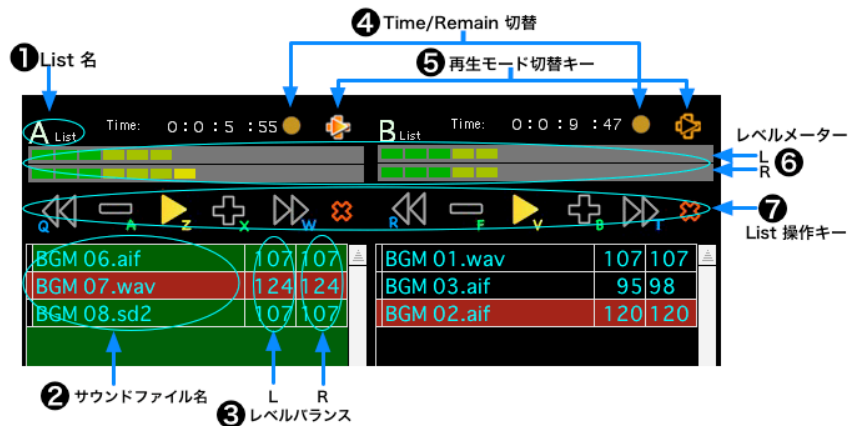
- 【 保存／呼び出し 】 製作した List の保存／呼び出しを行います。

- 【 Audio Setup／Matrix／Oscillator 】

ソフトウェアのオーディオセットアップ／マトリックス／オシレーターの設定を行います。

- ライセンス登録された 【 使用者 】 の名前が、表示されます。

## 2-2 【List A・B・C・D】



① List 名 を表示しています。

② List 内に入っているサウンドファイル名を表示しています。

注\*

- List 内にサウンドファイルが挿入されない場合、サウンドファイル名が限度枠を超えているか、もしくはフォントが未対応ということが考えられますので、サウンドファイル名を日本語表記フォントOsakaで作成してください。
- サンプリングレート 44.1KHz~96 KHz, bit数 8bit/16bit/24bit, ファイルタイプ aiff/wav/sd2  
で作成されたサウンドファイルが挿入可能です。
- 但しパソコンに接続された外部/内部インターフェイスの性能/能力に依存します。  
サウンドファイル名で以下のファイル名はシステム構造上使用できません。  
#(シャープ)、予(よ)、

③ 各サウンドファイルの レベルバランス L/R (左/右) の音量を表示しています。  
デフォルトレベルは、**107** に設定されています。

④ Time / Remain 切替 は、各 List 内、それぞれ選択されているサウンドファイルの時間を表示しています。

⑤ 再生モード切替キー Normal/NextGo PLAY切替は、各 List の再生方法を切り替えます。

Normal 再生 通常の状態です。

再生/停止を押すと音がでます。もう一度押すと停止します。  
再び押すと停止したところから音が再生されます。

NextGo 再生 サウンドファイルの〔再生/次のサウンドファイルへスタンバイ〕が List A・B・C・D  
それぞれ1つのキーで操作できます。

※NextGo再生をONにすると、背景の色が変わります。(初期設定では、**緑色**です。)

(配色は3-4参照)\*\*\*

⑥ レベルメーター は、選択されているサウンドファイルの再生レベルを表示します。

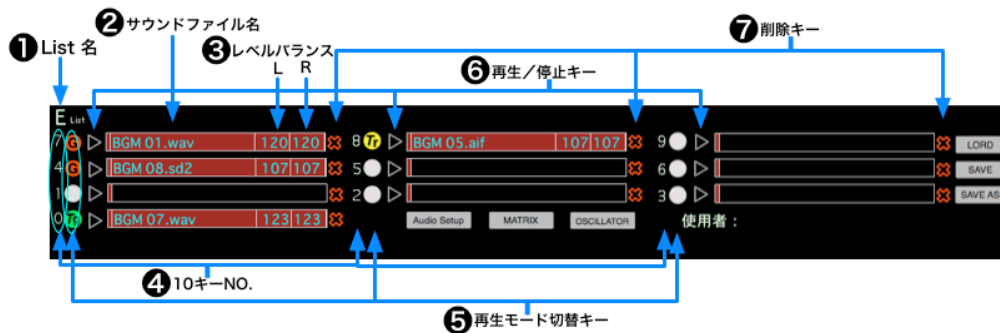
⑦ List 操作キー は、List 内のサウンドファイル操作を表示しています。

巻き戻し 前へ 再生/停止 次へ 早送り 削除  
これらの下に表記されているローマ字は、それぞれに対応しているキーボードキーです。

## 2-3 【List E】

◎ List Eは、キーボードの10キーに直接対応しています。

挿入された各サウンドファイルの再生方法／音量を、個別に選択／調整する事ができます。



① List 名を表示しています。

② List 内に入っているサウンドファイル名を表示しています。

注\*

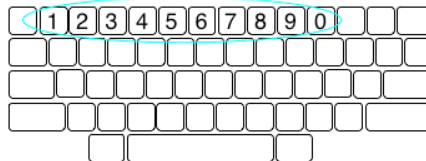
- List 内にサウンドファイルが挿入されない場合、サウンドファイル名が限度枠を超えているかもしくはフォントが未対応ということが考えられますので、サウンドファイル名を日本語表記フォントOsakaで作成してください。
- サンプリングレート 44.1KHz~96 KHz, bit数 8bit/16bit/24bit, ファイルタイプ aiff/wav/sd2で製作されたサウンドファイルが挿入可能です。
- 但しパソコンに接続された外部/内部インターフェイスの性能/能力に依存します。

サウンドファイル名で 以下のファイル名は システム構造上使用できません。

#(シャープ)、予(よ)、

③ 各サウンドファイルの レベルバランス L/R (左/右) の音量を表示しています。  
デフォルトレベルは、**107** に設定されています。

④ サウンドファイル再生の操作に対応している**10キー NO.**を表示しています。



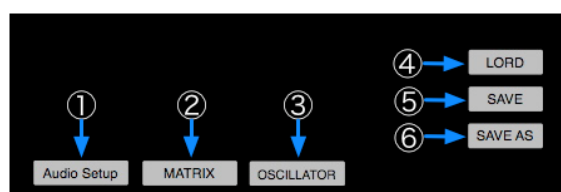
⑤ 各サウンドファイルの再生モード切替キーを表示しています。

- Tg** Toggle(トグル) 10キーを押すとサウンドファイルを最後まで再生します。  
再度押すと停止します。  
再度押すとサウンドファイルの頭から再生します。
- G** Gate(ゲート) 10キーを押しこんだ状態でのみサウンドファイルを最後まで再生します。  
キーを離すと、停止します。  
再度押しこんだ状態にすると、サウンドファイルの頭から再生します。
- Tr** Trigger(トリガー) 10キーを押すとサウンドファイルを最後まで再生します。  
再度押すとサウンドファイルの頭に戻り再生を始め、  
サウンドファイルが終了するまで再生されます。
- No date**(ノーデータ) サウンドファイルが入って無い状態を表示しています。

⑥ 各サウンドファイルの再生状態を 再生/停止キーで表示しています。  
個々のサウンドファイルの再生/停止をカーソルクリックで操作できます。

⑦ **X** 削除キーは、サウンドファイルを削除します。

## 2-4 【 Audio Setup/MATRIX/OSCILLATOR 】 【 保存/呼び出し 】



### ① Audio Setup

内部/外部オーディオインターフェイスの選択、設定を行います。

(部位説明は 3-1 / 設定方法は 3-2 参照) \*\*\*

### ② MATRIX

各 List からの再生するサウンドファイルの信号を、任意の output に振り分ける設定を行います。

(部位説明、操作方法は 3-4 参照) \*\*\*

### ③ OSCILLATOR

内部/外部オーディオインターフェイスから、31.25Hz ~ White Noiseを  
任意の output より音声信号を発信する設定を行います。

(部位説明、操作方法は 3-3 参照) \*\*\*

### ④ LOAD

保存した List ファイルを、読み出します。

(操作方法は 5-3 参照) \*\*\*

### ⑤ SAVE

List ファイルを、上書き保存します。

(操作方法は 5-2 参照) \*\*\*

### ⑥ SAVE AS

List ファイルを新規保存または、別名で保存します。

(操作方法は 5-1 参照) \*\*\*

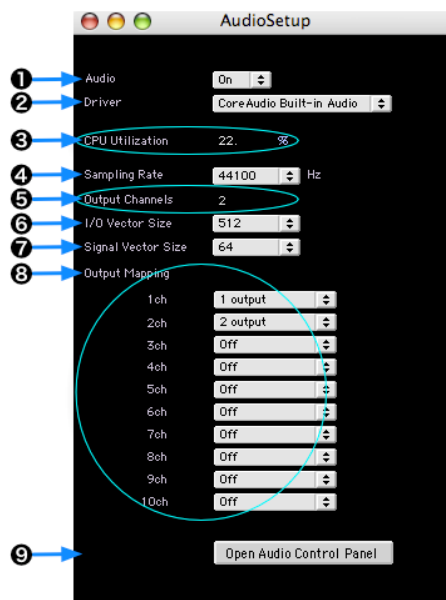


### 3 セットアップ、マトリックス部位名称と説明

(呼出し部位は2-4 / 設定方法は3-2 参照) \*\*\*

#### 3-1 Audio Setup ( オーディオ セットアップ )

- ① **Audio** 内部／外部オーディオインターフェイスの有効／無効設定を行います。
- ② **Driver** 接続されている内部／外部オーディオインターフェイス選択を行います。
- ③ **CPU Utilization** CPU 占有率を表示しています。
- ④ **Sample Rate** 内部／外部オーディオインターフェイスの出力サンプルレートを選択します。  
※パソコンに接続された外部／内部インターフェイスの性能／能力に依存します
- ⑤ **Output Channels** 内部／外部オーディオインターフェイスの 最大 Output 数を表示しています。  
※パソコンに接続された外部／内部インターフェイスの性能／能力に依存します



- ⑥ **I/O Vector Size** I/O Vector Size を設定します。
- ⑦ **Signal Vector Size** Signal Vector Size を 設定します。
- ⑧ **Output Mapping** 出力チャンネルのアサインを設定します。
- ⑨ **Open Audio control Panel** アプリケーション／ユーティリティ内の Audio MIDI 設定を開きます。

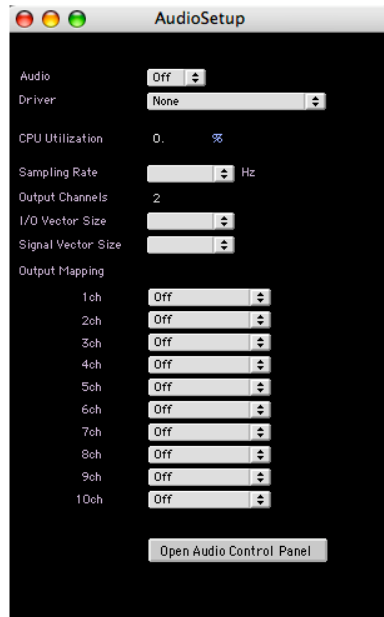
### 3-2 Audio Setup (オーディオ セットアップ)の設定

(呼出し部位は2-4 / 部位説明は3-1 参照) \*\*\*

- ◎ 本ソフトウェアを使用される場合、出力先を設定する必要があります。

接続されている内部／外部オーディオインターフェイスを選択することにより音源を外部へ出力する事が出来ます。

※ 本製品 List4+ver2 をはじめて起動させた状態で、Audio Setup を開くと下記図の様に何も選ばれていない状態の設定になっています



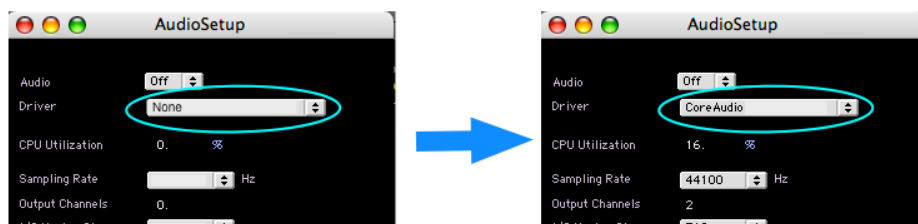
- ◎ まず Driver 欄 で接続されている内部／外部オーディオインターフェイスのDriverを選択します。

▼ 内部オーディオインターフェイスDriver → CoreAudio Built in Audio

▼ 外部オーディオインターフェイスDriver → CoreAudio Built in Audio / 外部オーディオインターフェイスのDriver等

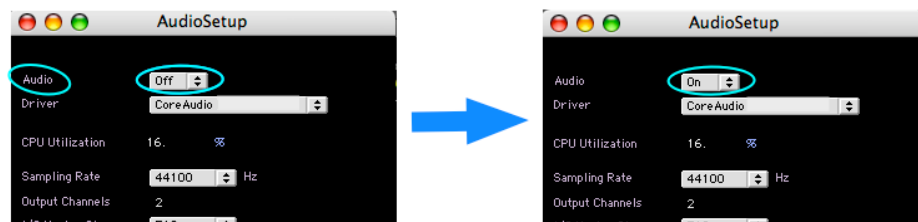
※ 必要に応じて 外部オーディオインターフェイス用のDriverをインストールしてください。

※ 外部オーディオインターフェイス および 外部オーディオインターフェイスDriverについては各説明書をご覧ください。



Driverを選択する事により、Output Mapping に内部／外部オーディオインターフェイスの出力チャンネルが表示されます。

- ◎ つぎに Audio 欄 をOnにします。



この設定を行う事により、はじめて本ソフトウェアから出力先への設定が完了します。

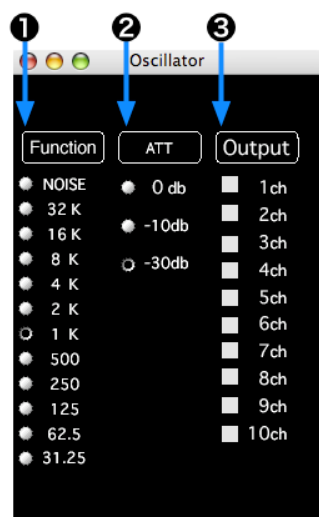
### 3-3 Oscillator (オシレーター)

(呼出し部位は2-4参照) \*\*\*

◎ Oscillator部位は、内部／外部オーディオインターフェイスへの接続経路を確認する為の確認や外部録音装置への基準音発信などに使用出来ます。

▼ 使用しない場合、特に設定をする必要はありません。

※ 本製品 List4+ver2 をはじめて起動させた状態で、Oscillator を開くと下記図の様な状態になっています。



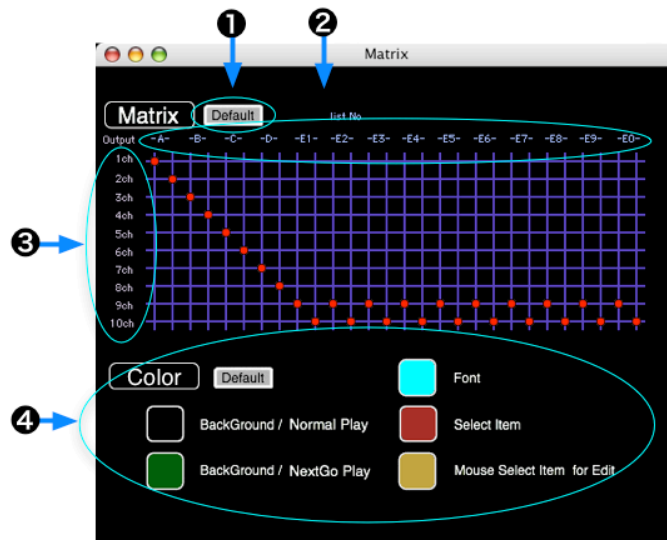
- ① **Function** 発信したい 31.25 Hz ~ White Noise 周波数信号を選択できます。  
発信したい周波数信号のボタンをカーソルでクリックしてください。
- ② **ATT** ① で選択された周波数の発信信号レベルを選択できます。  
発信したい周波数の信号レベルボタンをカーソルでクリックしてください。
- ③ **Output** ① ② で選択した信号を任意の内部／外部オーディオインターフェイスの Output へ送る選択ができます。  
選択する場合は、選択したい 1~10 チャンネルボタンをカーソルでクリックしチェックしてください。  
解除したい場合は、チェックされている1~10 チャンネルボタンを、  
カーソルでクリックしチェックを外してください。

### 3-4 Matrix (マトリックス)

(呼出し部位は2-4参照) \*\*\*

◎ 各 List から Output (音の出力先) を設定する事ができます。

※ 本製品 List4+ver2 をはじめて起動させた状態で、Matrixを開くと下記図の様な状態になっています。



- ① **Default** Matrix設定を基本の状態に戻します。
- ② 各 List の名称を表記しています。左側から縦2列ずつそれぞれの List に対して L、R... と並んでいます。
- ③ マトリックスの Output チャンネル横列 1~10ch を表記しています。

#### ● 操作方法

- ▼ 設置 縦列 (List) と横列 (Output) の交差している部位をカーソルでクリックしてください。  
選択されると赤いボタンが表示されます。
- ▼ 解除 選択されている赤いボタン表示をカーソルでクリックしてください。  
選択されている赤いボタンが解除されます。

選択箇所は、縦列 (List) と横列 (Output) 複数設定することが出来ます。

#### ④ Color

**Default** 配色を基本の状態に戻します。



- BackGround / Normal Play** 再生モードの Normal を選択している List の、背景色を変更します。
- BackGround / NextGo Play** 再生モードの NextGo を選択している List の、背景色を変更します。
- Font** List 内のサウンドファイル フォントの配色を変更します。
- Select Item** List 内の現在選択されているサウンドファイル枠の配色を変更します。
- Mouse Select Item for Edit** List 内の編集するサウンドファイルの枠の配色を変更します。

▼ 配色を変更し完了するには、ソフトウェアを一度終了し (必要であれば List ファイルを保存してください)  
再度ソフトウェアを起動させると配色が変更されます。

## 4 ソフトウェアの操作／編集操作

この章ではソフトウェアの操作の説明をしています。

本ソフトウェアを操作する際、パソコンの入力メニューを **英字** に変更してご使用ください。

操作方法で "caps lock"キーを ON  にする操作がありますが、ソフトの性質上、操作がうまく動作しない場合があります。その場合は一度 "caps lock"キーを OFF  にして、操作をリトライしてください。

### 4-1 サウンドファイルを追加する

#### 【List A・B・C・D・E】

▼ 挿入したい List へサウンドファイルをドラッグ&ドロップします。

- 注\*
- List 内にサウンドファイルが挿入されない場合、サウンドファイル名が限度枠を超えているか  
もしくはフォントが未対応ということが考えられますので、サウンドファイル名を日本語表記**フォントOsaka**で作成してください。
  - サンプリング レート 44.1KHz~96 KHz, bit数 8bit/16bit/24bit, ファイルタイプ aiff/wav/sd2  
で製作されたサウンドファイルが挿入可能です
  - 但しパソコンに接続された外部/内部インターフェイスの性能/能力に依存します。  
サウンドファイル名で 以下のファイル名は システム構造上使用できません。  
#(シャープ)、予(よ)、

▼ 実際に音を出してみます。( Audio Setup 後 )

画面上の List 操作キー  再生/停止 をカーソルでクリックする。または、キーボードキーをクリックし操作します。


### 4-2 サウンドファイルをコピー(複製)する

#### 【List A・B・C・D】

▼ "caps lock"キーを ON にします。 

コピーするサウンドファイルをカーソルで選択後、**⌘+C**(コマンドキー+Cキー)を押しサウンドファイルをコピーします。

次に **⌘+V**(コマンドキー+Vキー)を押すと、コピーしたサウンドファイルが ペーストされます。


最後に"caps lock"キーを OFF にします。 

### 4-3 サウンドファイルの順序を入れ替える

#### 【List A・B・C・D 内】

▼ "caps lock"キーを ON にします。 

移動したいサウンドファイルをカーソルで選択後、ドラッグ&ドロップと同じ要領で移動させます。

最後に"caps lock"キーを OFF にします。 


#### 【List A・B・C・D 間】

▼ "caps lock"キーを ON にします。 


移動したいサウンドファイルをカーソルで選択後、**⌘+C**(コマンドキー+Cキー)を押しサウンドファイルをコピーします。

次に移動させたい List 内の位置の一つ後のサウンドファイルを選択します。

その状態で**⌘+V**(コマンドキー+Vキー)を押すと、コピーしたサウンドファイルがペーストされます。

最後に"caps lock"キーを OFF にします。 

#### 【List E】


▼ サウンドファイル差し替えは、新規挿入（ドラッグ&ドロップ）か  削除のみです。


#### 4-4 サウンドファイルを削除する


##### 【 List A・B・C・D・E 】

▼ "caps lock"キーを ON にします。 

削除したいサウンドファイルをキーまたはカーソルで選択後、

サウンドファイルの挿入されている List の  をクリックするか、

キーボードの  キーを押し、サウンドファイルを削除します。

最後に "caps lock"キーを OFF の状態 にして終了します。 


#### 4-5 再生モード切替方法

##### 【 List A・B・C・D 】 2つの再生モード ● 【 Normal 再生 】 ● 【 NextGo 再生 】 が選択可能です。

(部位説明は 2-2 / 操作方法は 4-6 参照) \*\*\*

▼ "caps lock"キーを ON にします。 

各リストの右上にある再生モード切替キーをクリックするたび モードが切り替わります。


選んだモードが表示されたら "caps lock"キーを OFF の状態 にして終了します。 

##### 【 List E 】 3つの再生モード ● 【 Toggle 】 ● 【 Gate 】 ● 【 Trigger 】 が選択可能です。

(部位説明は 2-3 / 操作方法は 4-6 参照) \*\*\*

▼ "caps lock"キーを ON にします。 

再生モード切替キーをクリックするたびにモードが切り替わります。

選んだモードが表示されたら "caps lock"キーを OFF の状態 にして終了します。 

#### 4-6 サウンドファイルを操作する

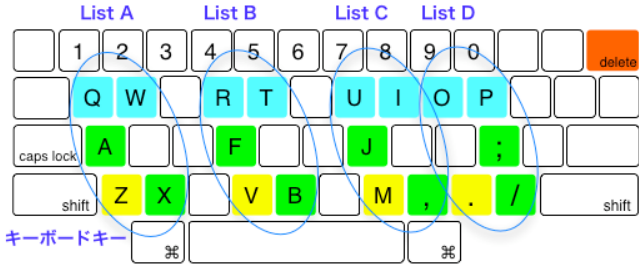
(部位説明は2-2／切替方法は4-5参照) \*\*\*

##### 【List A・B・C・D】

##### ●【Normal 再生】の操作方法

基本の状態(デフォルト)では、Normal 再生モードが選択されています。  
 (再生/停止) (一つ前へ) (次へ) (巻き戻し) (早送り) を操作するのに、それぞれキーが割り振られています。  
 それぞれの List 操作キーをカーソルでクリックするか、キーボードキーを押す事により操作できます。

	巻き戻し FR	1つ前へ Reverse	再生/停止 Play/Stop	次へ Next	早送り FF	削除 Delete
List 操作キー	⏮ ⏪	⏮ -	▶ ▶	⏭ +	⏭ ▶	✖ ✖
List A	Q	A	Z	X	Q	caps lock ON後 カーソルでクリック
List B	R	F	V	B	R	//
List C	U	J	M	,	U	//
List D	O	;	.	/	O	//



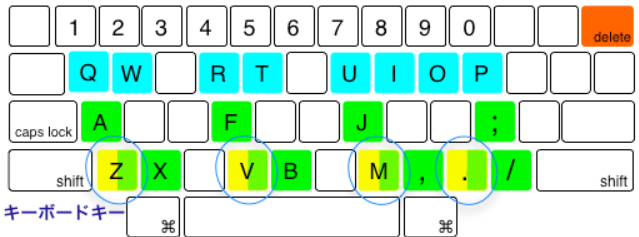
##### ●【NextGo 再生】の操作方法

サウンドファイルの(再生/次のサウンドファイルへスタンバイ)が、List A・B・C・D  
 それぞれ1つのキーで操作できます。

(1 曲目再生→2 曲目のサウンドファイルへ→2 曲目再生→3 曲目のサウンドファイルへ→ 3 曲目再生→4 曲目のサウンドファイルへ→……………。)

(再生/停止) (一つ前へ) (次へ) (巻き戻し) (早送り) は、Normal 再生と同様に割り振られているキーで操作できます。

	巻き戻し FR	1つ前へ Reverse	再生/停止 Play/Stop	次の曲頭へ NextGo	次へ Next	早送り FF	削除 Delete
List 操作キー	⏮ ⏪	⏮ -	▶ ▶	⏭ +	⏭ +	⏭ ▶	✖ ✖
List A	Q	A	Z	Z	X	Q	caps lock ON後 カーソルでクリック
List B	R	F	V	V	B	R	//
List C	U	J	M	M	,	U	//
List D	O	;	.	.	/	O	//

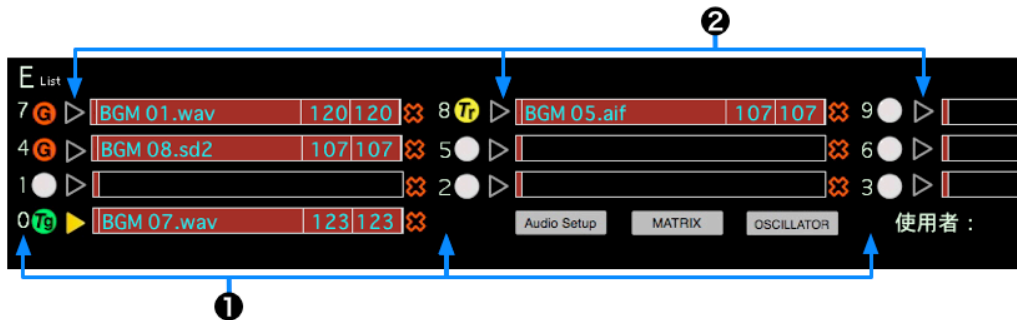


## 【List E】

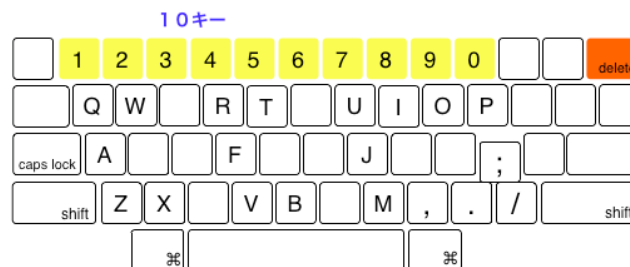
### ● 【List E】 の操作方法

(部位説明は2-3 / 切替方法は4-5 参照) \*\*\*

それぞれのサウンドファイルに割当てられた **① キー0～9**に対応したキーボードの10キー、  
及び **② 再生/停止キー**をカーソルでクリックすることで操作できます。



	巻き戻し FR	1つ前へ Reverse	再生/停止 Play/Stop	次へ Next	早送り FF	削除 Delete
List 操作キー			▶ ▶			✖ ✖
List E			1.2.3.4.5. 6.7.8.9.0.			caps lock ON後 カーソルでクリック



## 4-7 サウンドファイルの音量を調整する

### 【List A・B・C・D・E】

◎ List 内のサウンドファイルの音量を調整することができます。

各サウンドファイルの **L/R (左/右)**を、それぞれ **音量小 0～127 音量大** に設定できます。  
デフォルトレベルは、**107** に設定されています。

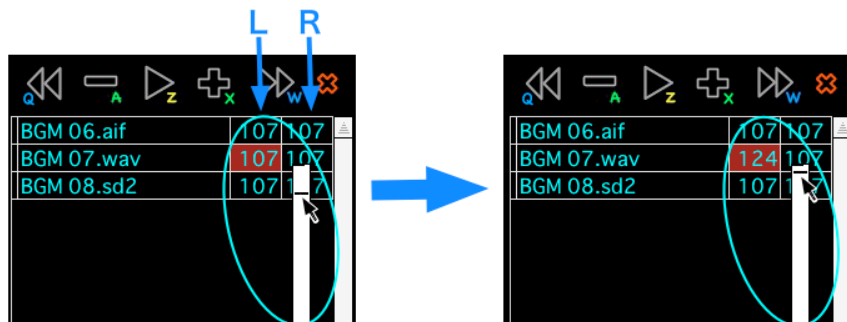
### ● 操作方法

▼ "caps lock"キーを ON にします。 caps lock

"shift"キー shift を押し込んだ状態で、調整するサウンドファイルの音量をクリックします。

音量バーが表示されますので、カーソルで音量を調節します。

"caps lock"キーを OFF の状態 にて終了します。 caps lock





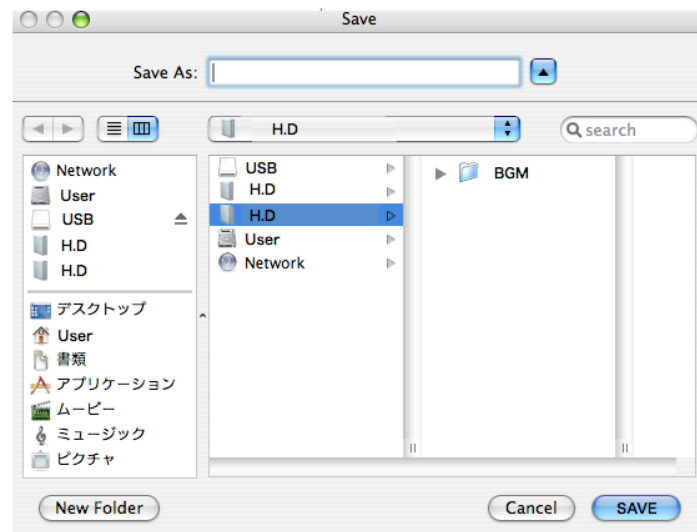
## 5 List ファイルの保存／呼び出し操作方法（SAVE AS / SAVE / LOAD）

（部位説明は2-4参照）\*\*\*

- ◎ 制作した List ファイルを保存／呼び出す事が出来ます。  
List の SAVE ファイルは、書類形式(テキストファイル)で保存されます。  
SAVE ファイル名は 英字 で記入してください。

### 5-1 SAVE AS（新規保存）（別名で保存）

- ▼ List ファイルを 新規保存、または 別名で保存 するには、メニューバーの File から **SAVE AS** を選択するか保存／呼び出し部の部位 **SAVE AS** をクリックして保存します。  
List の SAVE ファイルは、書類形式(テキストファイル)で保存されます。  
SAVE ファイル名は 英字 で記入し保存してください。



### 5-2 SAVE（上書き保存）

（新規保存や別名保存は5-1参照）\*\*\*

- ▼ List ファイルを保存するには、メニューバーの File から **SAVE** を選択するか、保存／呼び出し部の部位 **SAVE** をクリックして保存します。  
List の SAVE ファイルは、書類形式(テキストファイル)で保存されます。  
SAVE ファイル名は 英字 で記入し保存してください。
- ▼ List ファイルを以前に保存していない場合は、**SAVE AS** を選択し、保存してください。

ショートカットキー .....⌘ + S(コマンドキー+Sキー)

### 5-3 LOAD (Open)

(部位説明は2-4参照) \*\*\*

◎ 保存した List ファイルを、読み出します。

List の SAVE ファイルは、書類形式(テキストファイル)で保存されています。

▼ SAVE した List ファイルを読み出しするには、メニューバーの File から **OPEN** を選択するか  
保存／呼び出し部の部位 **LOAD** をクリックして読み出します。

ショートカットキー .....⌘ + O(コマンドキーOキー)

